



俺と黒い犬と 鮎



book-fukunokami

俺と黒い犬と鮭

「うおー、俺は寿司が食いたいぞ」

俺は黒い犬に向かって叫んだ。

「わん」

黒い犬はとぼけている。

本当は日本語がわかる黒い犬なのはわかっている。

「わんわん、わん」

しかも日本語も喋れる。

おや、もしかしたら英語もわかるかもしれない。

「アイライクスシー」

「わんわん」

黒い犬はまだとぼけている。

「じゃあ、わんちゃんいスシーを一つあげよう、なにがいい？」

「イカだ、わん」

ようやくとぼけるのが終わった。

「ドウユライクイカー？」

「わんわん、よくわからんわん」

「わからんわん？」

「わんわんわん」

ちょっとダジャレに似てるなと思った。